

(補正予算)

【予算規模】

区 分	補正前の額	補正額	補正後の額
	千円	千円	千円
一 般 会 計	28,950,000	144,000	29,094,000
基 金 特 別 会 計	208,900	—	208,900
施 設 運 営 事 業 会 計	6,044,000	—	6,044,000
埋 立 事 業 会 計	1,502,000	—	1,502,000
合 計	36,704,900	144,000	36,848,900

(注) 施設運営事業会計及び埋立事業会計については、それぞれ収益的支出及び資本的支出の合計額である。

【予算概要】

名古屋港における外航クルーズ船の受入れ

一般会計

外航クルーズ船の受入れに係る会場設営や交通誘導等 ○委託料（外航クルーズ船対応業務）	千円 144,000
一般会計 補正額	144,000

(同意)

《監査委員選任の同意について》

- 組合議会議員
- 愛知県監査委員

(報告)

《令和4年度名古屋港管理組合一般会計予算の繰越しの報告について》

○地方自治法施行令の規定により報告する。

(繰越明許費)

事業名：CNP形成計画策定補助事業費始め16件

金 額：6,603,270,000円

翌年度繰越額：5,682,650,323円

(事故繰越)

事業名：ガーデンふ頭文化厚生施設補修費

翌年度繰越額：7,000,000円

《令和4年度名古屋港管理組合施設運営事業会計予算の繰越しの報告について》

○地方公営企業法の規定により報告する。

(建設改良費の繰越)

事業名：金城ふ頭埠頭用地整備事業始め2件

予算計上額：1,324,600,000円

翌年度繰越額：226,570,300円

(事故繰越)

事業名：飛島ふ頭埠頭用地整備事業

予算計上額：496,900,000円

翌年度繰越額：420,946,200円

《令和4年度名古屋港管理組合埋立事業会計予算の繰越しの報告について》

○地方公営企業法の規定により報告する。

(建設改良費の繰越)

事業名：西部第1貯木場北側埋立整備事業

予算計上額：347,916,000円

翌年度繰越額：347,915,100円

(議員総会その他説明資料)

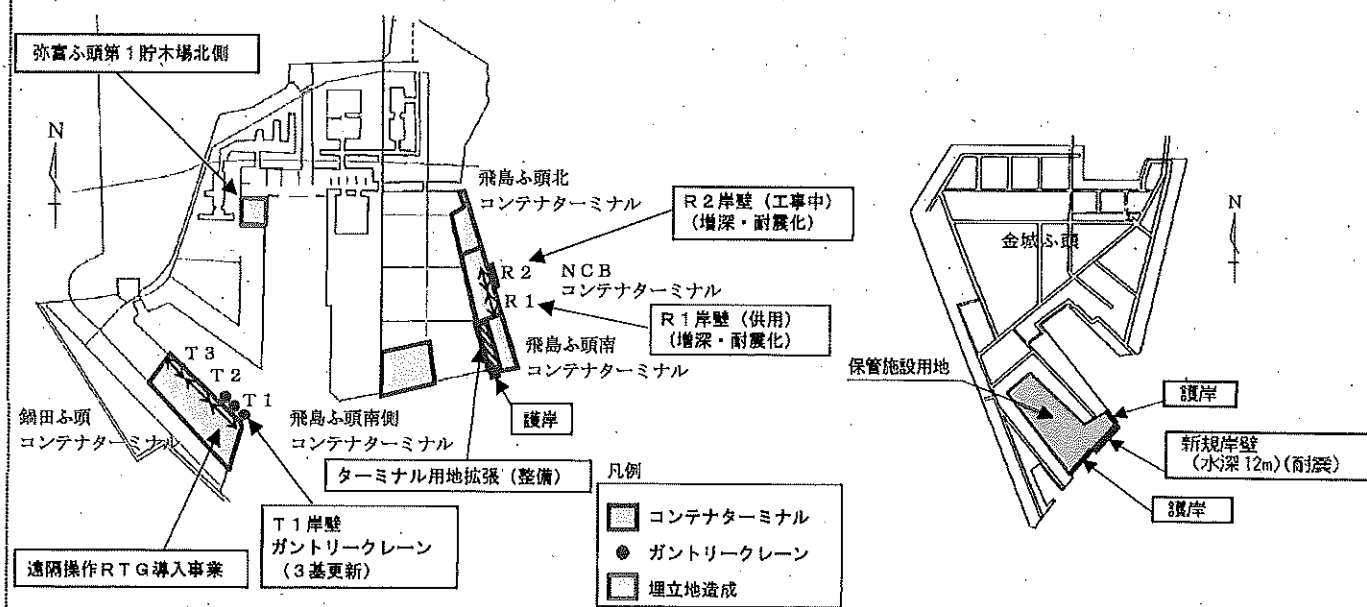
《国際競争力の強化に向けた取組について》

○コンテナ取扱機能の強化

- 飛島ふ頭NCBコンテナターミナルでは、船舶の大型化等に対応するため、岸壁の増深（水深12m→15m）及び耐震化に取り組んでおり、R1岸壁は令和4年10月に供用を開始した。R2岸壁は令和5年5月に国が工事着手し、引き続き、早期完成に向けて取り組んでいく。
- 飛島ふ頭南コンテナターミナルでは、コンテナ取扱機能の更なる強化に向け、ターミナル用地拡張のため、護岸の整備や地盤改良を進めていく。
- 鍋田ふ頭コンテナターミナルでは、ターミナル運営者である名古屋ユニテッドコンテナターミナル(株)により、遠隔操作RTG導入事業が行われており、T3及びT2の一部で運用が開始した。引き続き、T2、T1への導入に向けて準備が進められている。T1岸壁に設置されているガントリークレーン3基は、更新時期を迎えていることから、名古屋四日市国際港湾(株)が更新を進めていく。

○完成自動車取扱機能の強化

金城ふ頭において、国により新規岸壁（水深12m・耐震）の整備が進められ、令和5年3月に概成した。また、本組合は保管施設用地の整備を進めており、護岸工事の令和5年2月の完了に続き、3月からは埋立地の造成を開始しており、引き続き、早期完成に向けて取り組んでいく。



【令和5年度の取組内容】

○カーボンニュートラルポート形成の推進

- 名古屋港CNP形成協議会における議論を踏まえ、令和5年3月に「名古屋港CNP形成計画」を策定・公表し、令和5年度より、港湾物流の脱炭素化を積極的に進めていくため、作業船への陸上電力供給設備の整備や環境に配慮した船舶へのインセンティブ制度の充実などに取り組んでいる。
- 「名古屋港CNP形成プラットフォーム」においてオンラインプレゼンテーションを開催するなど、関係者間の連携を促進していく。
- 令和4年12月の港湾法の改正では、港湾管理者は法定計画となる「港湾脱炭素化推進計画」を作成することなどが定められたことから、名古屋港CNP形成計画の内容を反映し取りまとめている。

○ポートアイランド

AI、IoTなど情報通信技術の進展や、CNP形成に向けた取組など、名古屋港を取り巻く様々な環境変化を踏まえ、ポートアイランドを含めた名古屋港全体の将来像について検討していく。

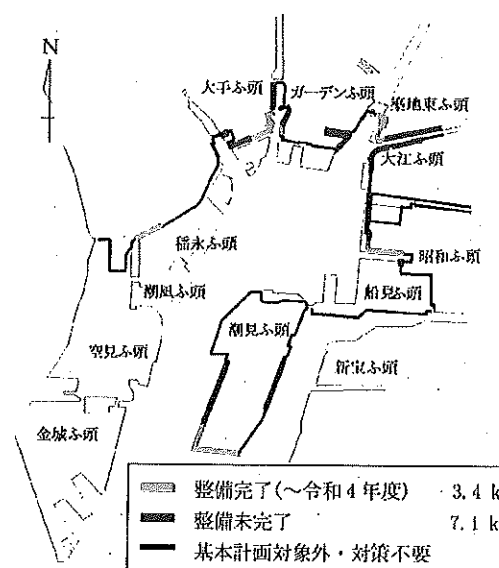
○港湾の管理運営の効率化

コンテナ物流の環境変化や新たなニーズに迅速かつ柔軟に対応するため、令和4年4月より名古屋四日市国際港湾(株)の企画、集貨部門を機能強化し、また、管理運営業務のより一層の効率化を図るため、本組合の行政機能を補完する団体である名古屋港埠頭(株)へ令和5年4月に港湾施設等の点検・維持修繕業務等を委託しており、引き続き、更なる港湾の管理運営の効率化に向けて取り組んでいく。

《名古屋港の防災対策について》

○ハード対策

- 防潮壁については、地震・津波対策として、水際線に面し背後地盤高が低い区間の液状化対策を優先的に進めており、残り7.1kmの整備に取り組んでいく。
- 耐震強化岸壁については、緊急輸送物資対応として、金城ふ頭に令和5年3月に新たな岸壁が概成し、コンテナなどの幹線貨物輸送対応として、飛島ふ頭のNCBコンテナターミナルにおいてR1岸壁の供用を開始し、R2岸壁は令和5年5月に工事着手し、引き続き、早期完成に向け取り組んでいく。



【防潮壁整備箇所図】

○ソフト対策

- 「港湾機能継続計画（港湾BCP）」について、航路啓開に関する訓練の実施や災害時における情報共有の検討など実効性の向上に取り組んでいく。
- 災害時の被災状況調査において、安全かつ迅速にリアルタイム映像を収集するため、令和4年度に高性能ドローンや港内カメラを導入した。今後も、迅速な災害対応の実施に向けて取り組んでいく。

《親しまれる港づくりについて》

○名古屋港水族館

- 令和5年度の入館者数は、特別展の開催などにより、令和4年度並みの200万人以上を見込む。
- 海洋文化の普及については、館内レクチャー等を実施して教育活動の充実を図るなど、SDGs（持続可能な開発目標）についての取組を進めていく。また、寄附金募集などの収入確保や経費削減についても、積極的に取り組んでいく。
- 大規模補修と機能強化について有識者などに意見を聞きながら取りまとめていく。

○クルーズ船

- 令和5年4月より名港中央大橋の高さ制限が緩和され、今まで以上に背の高いクルーズ船がガーデンふ頭に着岸できるようになった。
- 令和5年5月8日に感染症の位置づけが見直されたことに伴い、感染症マニュアルを廃止するものの、状況を見据えながら受け入れていく。

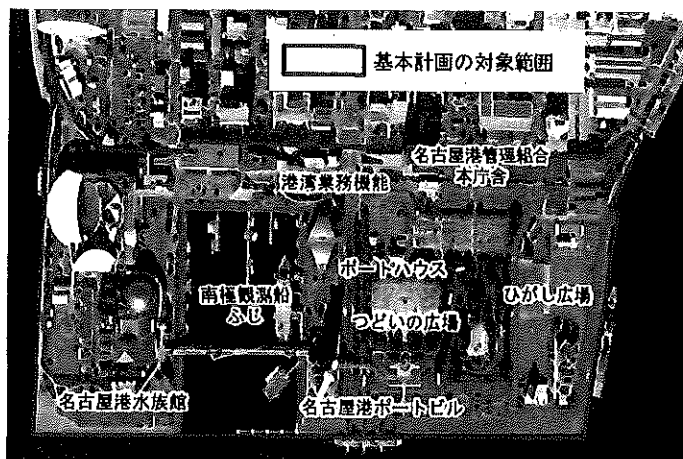
【クルーズ船入港状況】

令和5年4月末日現在

ふ頭別	令和元年実績	令和2年実績	令和3年実績	令和4年実績	令和5年	
					実績(1~4月)	申込隻数(5~12月)
ガーデンふ頭	33隻	7隻	14隻	22隻	10隻	8隻
金城ふ頭	6隻	0隻	0隻	0隻	1隻	9隻
計	39隻	7隻	14隻	22隻	11隻	17隻

○ガーデンふ頭再開発

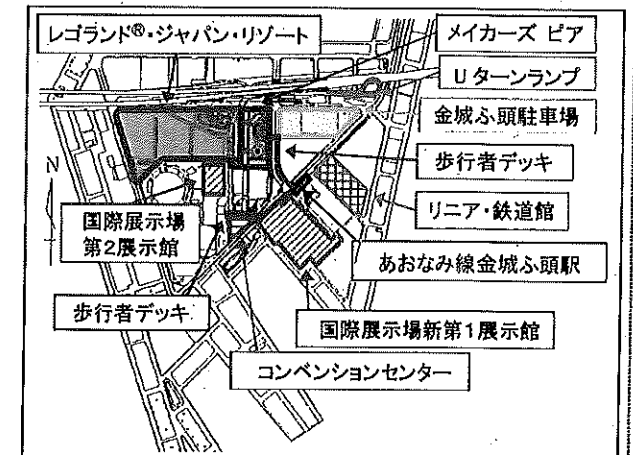
- 令和4年度は、有識者会議を活用し、計画立案段階から開発主体の誘致までを、行政と民間事業者が協働で行う仕組みについて取りまとめた。
- 現在、協働事業者を選定するため、令和5年5月に募集要項を公表し、8月には決定・契約できるよう取り組んでおり、今後は、開発エリアの確保に向けて港湾業務機能の移転調整を進めていく。



【ガーデンふ頭】

○金城ふ頭の交流拠点開発

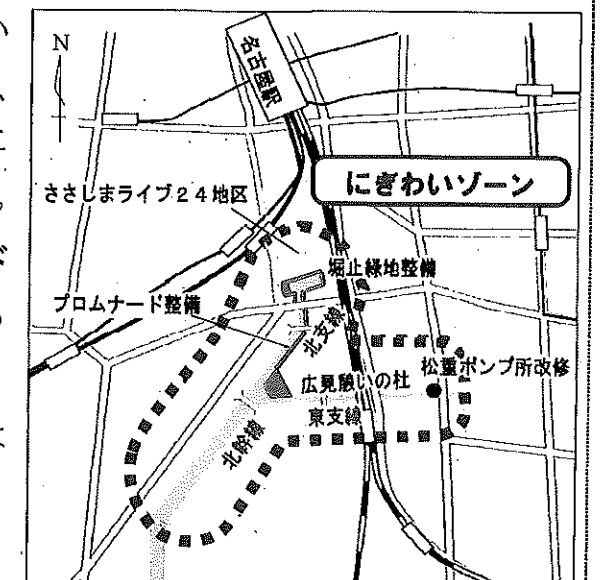
- 国際展示場新第1展示館等が令和4年10月に供用開始された。
- 交流拠点開発が物流機能に支障をきたさないよう、名古屋市により金城ふ頭駐車場の整備や道路改良等の交通対策が実施されており、本組合は、今後も港湾関係者の理解のもとで展開されるよう、名古屋市と連携して取り組んでいく。



【金城ふ頭】

○中川運河の再生

- 「中川運河再生計画」に基づき、「にぎわいゾーン」を中心に、様々な施策を実施しており、堀止緑地の整備や松重ポンプ所の改修等については、令和5年度の完了を目指している。
- 堀止緑地と広見憩いの杜を結ぶプロムナード整備については、令和5年度に事業着手する予定である。
- 「中川運河再生計画」（計画期間20年間）は策定から10年が経過したことから、今後10年の取組を名古屋市と取りまとめ、令和5年度に更新する予定である。



【中川運河（にぎわいゾーン）】

《第6次行財政改革計画について》

- 目標 本組合の具体的な施策や事務事業を総合的・体系的に取りまとめた「中期経営計画」の着実な推進を下支えし、安定的かつ持続可能な行財政運営を実現
- 期間 令和5年度から令和9年度までの5年間
- 内容 3つの改革の視点を踏まえ、5本の改革の柱、13の取組項目を設定

《指定管理者の選定について》

新舞子ボートパークの令和6年4月1日以降の指定管理者選定に向け、7月～10月に公募、選定を行い、11月定例会に指定管理者指定の議案を上程する予定である。

(名古屋港水族館特別委員会(仮称)提出予定資料)

《名古屋港水族館の大規模補修と機能強化について》

- 開館から30年が経過し、施設の状況は経年劣化や塩害による老朽化が進行しており、適宜必要な補修等を行っているものの、引き続き安定した生物の飼育のためには、水処理設備など基幹的な設備の取替を要する大規模な補修が必要である。
- アフターコロナを見据えた館内の狭隘箇所の改善や更なる魅力向上に向けた施設の機能強化も必要となってきたことから、現状を踏まえうえで大規模補修と機能強化について検討を進めていく。

○名古屋港水族館の経緯

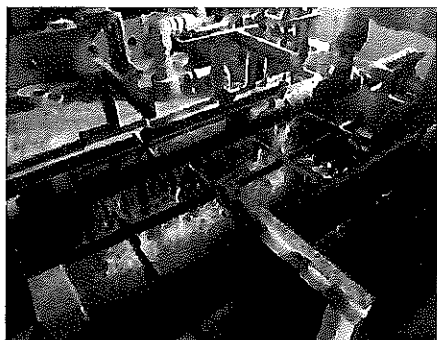
- 水族館は、ガーデンふ頭の親しまれる港づくりを推進するため、昭和59年に愛知県議会を始めとした関係機関及び地元関係者からの水族館建設を求める要請により、建設費を愛知県、名古屋市、本組合が3分の1ずつ負担し、本組合が建設主体となり設置した。
- 水族館は海洋文化を普及する社会教育施設であることから、入館料の設定については、光熱水費など経常的な管理運営費を賄うものとした。

○施設の健全度

- 施設本体のコンクリートにひび割れ・露筋が見られるものの、耐久性能には特段問題が見受けられず、適切な維持管理を継続すれば、今後30年程度は良好に活用できる。(健全度調査 令和元年度実施)
- 生物の生命維持に不可欠な水処理設備など基幹的な設備については、一般的な耐用年数が到来し、塩害等による腐食も散見されるため、設備の取替が必要である。

○主な設備の状況

- 基幹的な設備は、多くの機器で構成され、常時安定した稼働が不可欠であるため、機器の計画的な取替など対策を講じているが、設備全体の耐用年数が到来し、経年劣化や塩害等による老朽化が進行した機器や、供給停止した特定フロン(R-22)を使用する冷却機器などもある。



【ろ過機器】



【特定フロンを使用する冷却機器】

- 生物の生命維持や安定した飼育展示には、設備全体の取替工事や水槽全体の防水工事が必要となってきた。

○施設の補修実績

水族館では、計画的に部分的な機器の取替を行っており、開館から10年間の補修費は少なく抑えられたが、近年では塩害等により腐食した配管の取替などで増加している。

【補修費】

平成5～14年度	平成15～24年度	平成25～令和4年度	合 計
0.3 億円	4.1 億円	32.5 億円	36.9 億円

※施設設置者である本組合が負担

○施設の機能

- 観覧通路は、繁忙期やイベント終了時に、南館「日本の海」などで通路が狭隘なため、入館者が集中し密集する箇所がある。
- 車いす利用者等への観覧通路のスロープ化など、安全・安心して観覧できる館内環境の改善を求める意見が、入館者アンケートなどからあった。



【繁忙期の状況(南館「日本の海」)】

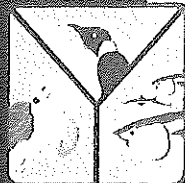
○現状の課題

- 施設本体は耐久性能に課題がないものの、耐用年数が到来した水処理設備等の基幹的な設備の取替、展示水槽の防水工事などの大規模補修を実施しなければ、生物の生命維持や安定した飼育展示に影響する。
- 館内の観覧通路など、施設の機能について改善を求める意見にも配慮した、より快適で安全・安心な館内環境に向けて、機能強化の検討が必要である。

○今後の予定

水族館の施設の大規模補修と機能強化について、専門的知識を有する有識者などに、幅広い観点から意見を聞きながら取りまとめていく。

名古屋港水族館フロアマップ



みなみ
かん
南館

なん
きょく
への旅
南極へ



《北館イベント》

- 1 シャチ公開トレーニング (3F)
- 2 イルカパフォーマンス (3F)
- 3 ベルーガ公開トレーニング (3F)

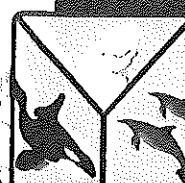
《しおかぜ広場イベント》

- 4 フィーディングタイム (給餌タイム) (しおかぜ広場)



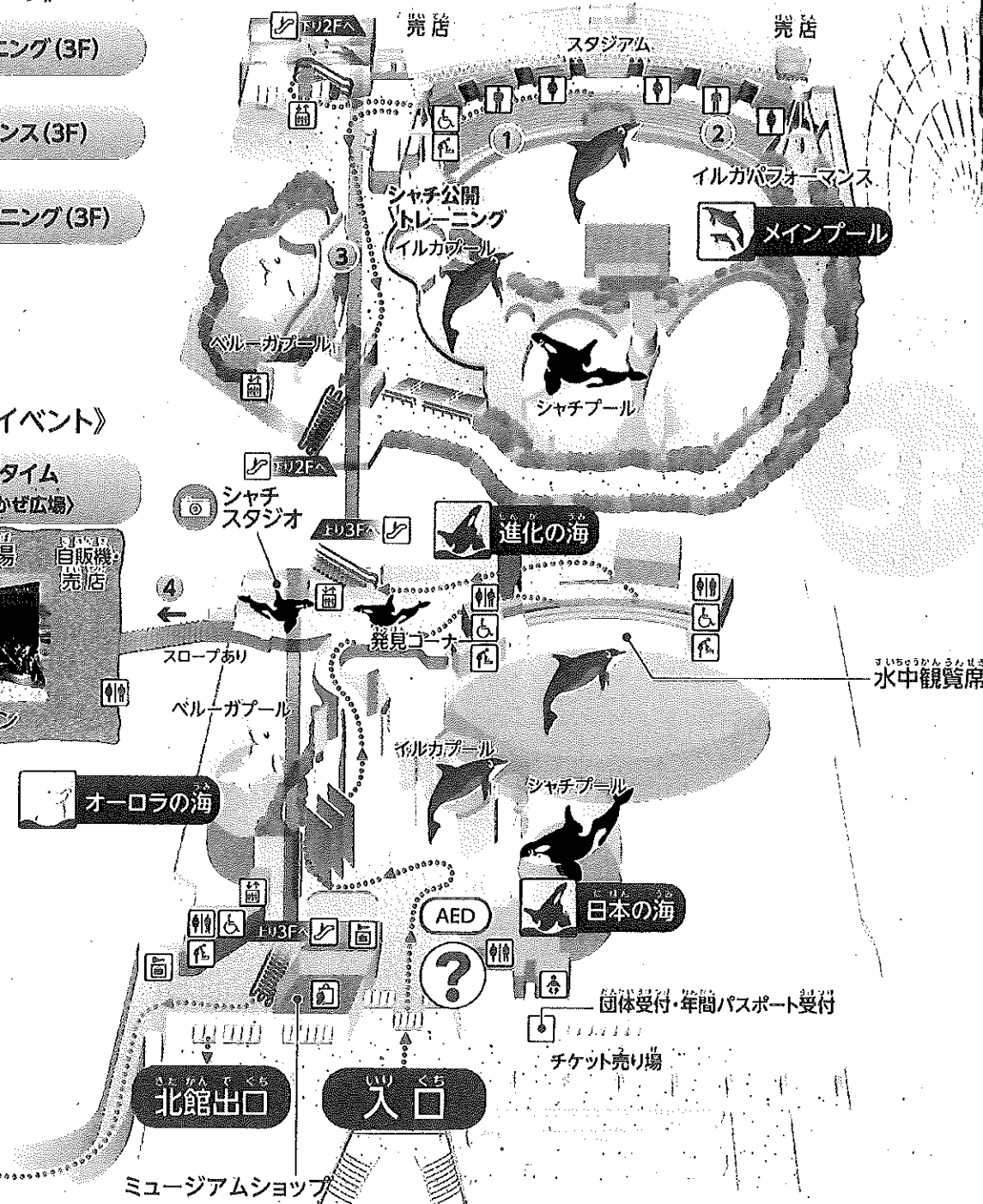
《南館イベント》

- 1 マイワシのトルネード (2F)
- 2 フィーディングタイム (2F) (給餌タイム) (黒潮大水槽)
- 3 ダイバーコミュニケーション (1F) (サンゴ礁大水槽)
- 4 フィーディングタイム (3F) (給餌タイム) (ウミガメ)
- 5 フィーディングタイム (3F) (給餌タイム) (ペンギン)



きた
かん
北館

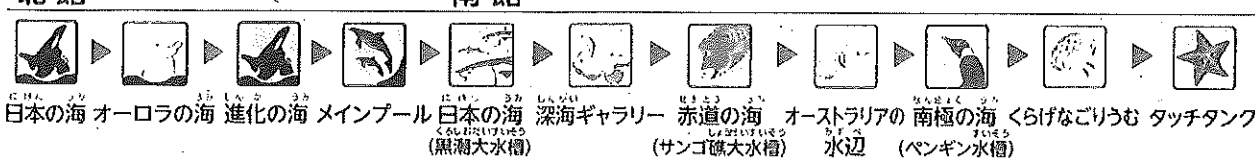
35億年
はるかなる旅
ふたたび海へもどった動物たち



順路

北館

南館



総合案内	お手洗い	オストメイト	ベビーコーナー
ミュージアムショップ	レストラン	軽食コーナー	コインロッカー
エレベーター	エスカレーター	喫煙コーナー	フォトスタジオ
			休憩コーナー

※救護室は各館にごございます。ご利用の際にはお近くのスタッフにお声かけください。
 ※全館でFree Wi-Fiがご利用いただけます。
 ※動物の体調などにより、展示やイベントが中止・変更となる場合があります。
 ※新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 拡大防止のため、展示やイベントが中止・変更となる場合があります。

SOUTH BUILDING

NORTH BUILDING